

子どもファースト

多胎妊婦などの子育て世 代への支援拡充

666万円

育児などの負担が多い多胎妊産婦を支援するため、妊婦健康診査に係る費用の追加助成（5回分）、サポートを派遣することによる育児や家事支援を行います。

また、子育ての負担を軽減するため、妊婦〜3歳（3歳の誕生日を含む月まで）の子を養育している家庭を対象に、1時間500円の利用料でヘルパーを派遣し、家事支援を行います。

子育て世代包括支援センター ☎ 56・23305



市民の「いのち」を守る

市民病院でA-I問診を開始

千18万円

救急外来などにおいて、専用タブレットを使用して行うA-I問診を開始します。問診の回答に応じてA-Iが疑わしい疾患を想定し、その結果に応じて医師は診察を行う事で、対面診察で重要である診療行為に注力することができ、より質の高い医療の提供に繋がります。

市民病院 ☎ 66・22000



都市基盤の整備

狭あい道路解消の促進

633万円

道路には、人や車の通行に利用する以外にも、快適な生活環境を守ることや災害活動の空間としての役割があります。この役割を維持し、安全で住み

よい環境と災害に強いまちづくりを進めるために、狭あい道路の整備を行います。狭あい道路の後退用地などを市に寄附いただく場合、市が土地測量、登記・舗装などの整備を行います。

よい環境と災害に強いまちづくりを進めるために、狭あい道路の整備を行います。狭あい道路の後退用地などを市に寄附いただく場合、市が土地測量、登記・舗装などの整備を行います。

よい環境と災害に強いまちづくりを進めるために、狭あい道路の整備を行います。狭あい道路の後退用地などを市に寄附いただく場合、市が土地測量、登記・舗装などの整備を行います。

建築住宅課 ☎ 66・1133
(事前申出)

土木港湾課 ☎ 66・1153
(寄附・測量)

カーボンニュートラル

2050年「ゼロカーボン」 シティ「S宣言」

8千339万円

これまでの地球温暖化対策事業に加え、市が率先して再生可能エネルギーや次世代自動車の導入、LED化による省エネルギーの促進を行っていくことで、国が2050年までに目指しているカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の着実な実現を推進します。

環境清掃課 ☎ 57・4100

効率的な行財政運営

スマート市役所改革による 市民サービスの向上

8千61万円

オンライン申請の拡充やペーパーレス化といったデジタル技術の活用による業務改革の推進や、ご遺族の負担を軽減するためのおくやみ窓口システムの導入、住民票のコンビニ交付の開始などを実施することにより、行かない・書かない・待たない・便利な市役所を目指します。

デジタル行政推進課 ☎ 66・1209
(スマート市役所改革、デジタル関連)
市民課 ☎ 66・1110
(おくやみ窓口システム、住民票などのコンビニ交付)

